SHONAN VISION

Social Magazine

Vol.29 2020.01

湘南VISION大学

環境教育テキスト2020



NPO法人湘南ビジョン研究所

AYANO NAKAGAWA

~海をもっと楽しもう!~ 湘南VISION大学 環境教育テキスト

「湘南VISION大学」とは、NPO法人 湘南ビジョン研究所が主催する「海」 の環境教育に特化した市民大学です。 「海をもっと楽しもう!」をテーマに、海 を体感するアクティビティやワークショップを通して、海の生き物や環境、歴 史、海の楽しみ方を学びます。学校教 育法が定める国立や私立大学ではなく、子どもからシニアまで、誰もが入学 できる「海の学び場」です。



当大学は、国連サミットで採択され

たSDGs (持続可能な開発目標)の理念に共感し、「14. 海の豊かさを守ろう」の達成に貢献することを目指しています。2018年5月5日に設立・開校し、2年間で51講座開催、合計2,251人の生徒に受講いただきました。

受講生を1万人輩出することが私たちの目標です。受講生が海の環境に少しでも関心を持つようになって、「海を守る」活動をみんなで進めていけば、湘南はもっともっといいまちになると思っています。

このたび、当大学の授業用の環境教育テキストを作成しました。毎回の授業で配布しますが、無料で配布しま すので是非ご活用いただければ幸いです。

湘南VISION大学 学長 片山清宏

CONTENTS

- 1 湘南海岸にはどんなごみがあるの?
- 2 プラスチックごみは何で問題なの?
- 3 海岸ごみは減ってるの?増えてるの?
- 4 海岸ごみの種類と自治体の対策は?
- 5 海岸ごみは動物たちにどんな影響があるの?
- 6 海岸は誰がキレイにしてくれているの?
- 7 海岸清掃ボランティアは何人くらいいるの?
- 8 ビーチクリーンはどうやってやるの?
- 9 ブルーフラッグって何?
- 10 日本のブルーフラッグ認証ビーチはどこ?
- 11 海の環境教育って何で必要なの?
- 12 湘南VISION大学ってどんな学校?
- 13 湘南VISION大学はどんな授業あるの?





1 湘南海岸にはどんなごみがあるの?

(1) 湘南の海岸ごみとは?

湘南は、人口が密集した街に丹沢山系の山と海を繋ぐ川があるのが特徴です。多くの海水浴場がある湘南海岸には海水浴客が集まるため「海岸でみ」が多いと言う印象が強いですが、それは海岸ゴミの約3割に過ぎません。

海岸ごみの約7割は川から流れてきます。

山から流れる川 の流れが街にあるごみを全て集めて、海岸まで運んでくるのです。つまり、海岸ごみは、私たちが暮らす社会全体の集大成といえます。海岸のごみは社会全体の問題。最終的には、そこに暮らす人ひとりひとりのマナーの問題に行き着きます。

(2) こんなものまで!? 湘南の海岸ごみの特徴

① 流木・木くず

神奈川県には、高い山と大きな河川があるため、そこから流れてくる流木や、アシ・ヨシ・竹などの木くず類が非常に多く海岸に漂着します。特に、相模川や酒匂川のような大河川からは、大量の流木や木くずが流れ出てきます。また、境川などの都市河川からは、護岸に植えられた街路樹の葉が腐葉土のようになって海岸に漂着します。

② タバコのフィルター

海岸だけでなく、街中で「ポイ捨て」されたものも河川や排水溝を通じて海岸へ流れ込み、汀線上に並んで漂着します。サイズが小さいため、通常の海岸清掃で全て回収するのは困難。大規模なボランティア清掃の時などに呼びかけて、人の手で一本ずつ回収しています。

平成22年度から神奈川県では「安全・きれい・快適なビーチを目指して」県内の海水浴場において、海水浴場開設期間の開場時間中は喫煙場所以外での喫煙を禁止する条例が施行されたため、期間中に海水浴場エリア内にポイ捨てされるごみは減少しました。

③ 花火大会のごみ

海岸で花火をして、そのまま片付けないで帰ってしまうケースが多く見られます。また、夏季などに海岸で開催される花火大会では、一部の見物客が、足元に敷いたシートや飲食物の容器等をそのまま残して帰ってしまうことも多く、花火大会の翌日の海岸周辺は、ごみで溢れかえります。

④ バーベキューごみ

5月~10月頃の天気の良い週末の湘南海岸は、バーベキューを楽しむ人で賑わいます。そのため、海岸の出入口や駐車場、なかには、バーベキューをしたその場に、ごみを放置していくケースが多く見られます。

バーベキューごみは、量が多く、食品等の臭いが強いため、カラスについばまれ、ごみが広範囲に散乱しがちです。清掃やごみ回収の回数を増やして対応していますが、バーベキューのマナーの向上など、根本的な解決策が求められています。

⑤ スプレー缶

卓上コンロ、整髪剤、潤滑油等、さまざまなスプレー 缶が河川を経由して海岸に漂着してきます。清掃では、 このスプレー缶だけは別に回収し、ガス抜きをしたあ と不燃物として処理しています。過去にごみ処理場等 で爆発した例もあるので、特に、ボランティアが集めた ごみの中からスプレー缶を取り除く作業は欠かせない ものであり、スプレー缶は、慎重に扱わなくてはいけな いごみの一つです。

⑥ 漁業系ごみ

波浪や管理が悪くて流されてしまった影響で、海岸には、たくさんの漁業系ごみが漂着します。魚を入れる発泡スチロール製の箱(トロ箱)からウキ、漁網、中には廃船生で

漁網や廃船等は、ごみ処理場に持ち込む前に、公益財団法人かながわ海岸美化財団(以下「かながわ海岸美化財団」と言います。)で中間処理(割ったり、切ったり、細かく砕いたり)が必要になるため、非常に厄介なごみの一つです。

⑦ 注射器

危険な割によく海 岸に落ちています。右 の写真のように一箇 所に大量に捨てられ たケースもあります が、ほとんどは、河口



部などに他のごみと混じって漂着することが多いです。 多くの注射器には針先が付いており、怪我だけでなく、 感染の危険性も心配されます。神奈川県では、年間100 本程度の注射器が回収されています。

(出典:公益財団法人かながわ海岸美化財団HP)

2 プラスチックごみは何で問題なの?

(1) 増え続けるプラスチックごみ

湘南海岸で回収される海岸でみは、年間約2,000トン。かながわ海岸美化財団が行った調査では、そのうち約33%である約660トンは人工ごみで、人工ごみのうちの約60%である約400トンはプラスチックごみと推計され、海岸ごみ全体に占めるプラスチックごみの割合は、増加の傾向にあります。

また、美化財団が回収する海岸ごみのうち、木くずや海藻等の自然系のごみを除外して、人工ごみだけの組成を25年前と直近で比較すると、金属系のごみが31.4%から16.8%、ガラス系のごみが15.7%から10.8%へと減少している一方、プラごみは40.9%から57.1%へと約1.4倍に増えています。最近の海洋プラスチックごみへの関心の高まりは、海岸ごみがプラスチック中心へと移り変わってきていることも関係していると考えられます。

(2) 湘南海岸のプラスチックごみの現状



(出典:公益財団法人かながわ海岸美化財団HP)

この写真は、かながわ海岸美化財団が藤沢市境川の河口部で、10メートル四方の海岸にある人工ごみを全て集めたもの。

カンとビンは合わせて全体の約30%に過ぎず、全体の約60%がプラごみです。内訳は、食品トレー、植木鉢、洗剤の容器、お菓子などの包装、荷造り用のバンドなど多種にわたりますが、半分以上がペットボトル。有料化や廃止など関心が高まっているレジ袋やストローはごく少量となっています。これらはすべて、川を通じて陸域から流れ出たものです。

海ごみの減量を考えるとき、陸域からプラごみの流出をいかに抑えていくかが、キーとなることがわかります。

(3) マイクロプラスチックとは

一見とてもキレイな海岸に見えても、幅5mの範囲をフルイを使って、細かなごみまで拾い集めてみると、小さなプラスチック片を簡単に採取することができます。この5mm以下のモノがいわゆるマイクロプ

ラスチック。海岸のプラスチックは波や日光の作用によって、どんどん小さくなっていっていき、やがて拾えなくなります。かながわ海岸美化財団によると、幅5mで約200個採取できました。これを単純に神奈川県の150kmの海岸で換算すると、約600万個になります。そして、一番の問題は、この600万個のカケラは、小さくなっても存在がなくならないことです。海岸で回収できなかったプラスチックごみの一部は外洋へと流れ出てしまいます。

(4) プラごみ対策に向けて

増え続けるプラごみに対して、必要なのは「出口」と 「入口」の両方の対策。

「出口」は海岸での回収。ここで拾わないと、プラごみはマイクロ化したり外洋へ流れ出したりし、海岸や海洋の環境を悪化させます。それを食い止めるためには、継続的に海岸のごみを回収する仕組みの強化が必要です。また、ごみの通り道である川においても、継続的に回収できる仕組作りが求められます。

「入口」はプラごみを出さないこと。ごみのポイ捨てや不法投棄を防ぐための啓発はもちろん重要ですが、使い捨てプラスチックの排出抑制、効率的なリサイクルシステムを通じた循環利用の徹底や、生分解性プラスチックへの切り替えなど、実効性のある戦略的な取組みを進めることが求められます。

(5) 神奈川県の取り組み



2050年には魚よりプラごみの量が多くなるという予測も示されており、生態系を含めた海洋環境の悪化が懸念されています。そんななか、2018年8月には鎌倉市由比ヶ浜にシロナガスクジラの赤ちゃんが漂着し、その胃の中からプラスチック片が発見されたことで大きな話題になりました。シロナガスクジラの胃の中からプラスチック片が発見されたことを受け、2018年9月に神奈川県、10月に鎌倉市が「プラごみゼロ宣言」を発表しました。神奈川県では、プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止・回収などの取組を、市町村や企業、県民とともに広げていくことで、持続可能な開発目標(SDGs)の目標達成年である2030年までのできるだけ早期に、リサイクルされない、廃棄されるプラごみゼロを目指しています。

3 海岸ごみは減ってるの?増えてるの?

海岸ごみ(種類別)と清掃経費の経年変化

下記のグラフは、かながわ海岸美化財団が処理した各海岸でみの重量と海岸清掃事業費の経年変化を表したものです。

棒グラフを見てみましょう。平成3年から平成26年までの海岸ごみの量を示したものです。大きく突出している年は平成14年ですが、これは海藻のごみの量の増加によるものです。平成14年度は特に台風の当たり年だったため、海藻の量が突出したものになりました。

一方、グラフの一番下部分とその上の部分、濃いオレンジで表示されている**可燃ごみと不燃ごみは、約2,000トン前後で推移**しており、平成3年から平成26年まで、大きな変化は見受けられません。

次に、折れ線グラフを見てみましょう。これは、かなが わ海岸美化財団が使った海岸清掃にかかった経費で す。海岸清掃事業費は、設立当初、4億円台であったも のが、平成22年度には、2億円を切るところまで減少し てきています。

「ごみの量は減っていない」が「清掃費は減っていく」 状況の中、変わらない美化レベルを維持するために、 ボランティアによるビーチクリーンの増加が必要となっています。

かながわ海岸美化財団の努力のかいもあり、神奈川県の海岸清掃の<u>ボランティアの数は年々増加し、平成27年度は年16万人</u>が神奈川の海岸を清掃しています。(詳細は「7、海岸清掃ボランティアは何人くらいいるの?」参照)

しかし、それでもごみの量が変わらないのは「入口」でのごみの抑制が必要です。ごみのポイ捨てや不法 投棄を防ぐための啓発はもちろん重要ですが、使い 捨てプラスチックの排出抑制、効率的なリサイクルシ ステムを通じた循環利用の徹底や、生分解性プラス チックへの切り替えなど、実効性のある戦略的な取組 みを進めることが求められます。



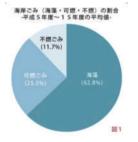
海岸ごみと清掃経費の経年変化

(出典:公益財団法人かながわ美化財団)

4 海岸ごみの種類と自治体の対策は?

(1) 海藻・可燃ごみ・不燃ごみの割合

平成5年度から平成15年度までの11年間に、かながわ海岸美化財団が処理した海藻・可燃ごみ・不燃ごみの割合の平均値は次の様になります。



(出典:すべて公益財団法人かながわ海岸美化財団)

(2) 自然系ごみと人工系ごみの割合

(1)と同様、海藻を含めた全体の海岸ごみを自然系と人工系に分類したのが、図2です。人工系ごみが20.6%、自然系ごみが79.4%となり、自然系ごみが全体の約8割を占めています。(図2参照)



(3) 川からきたごみが7割

海藻以外のごみ(可燃 ・不燃)はどのようにして 発生するのでしょうか。

かながわ海岸美化財団の調査によると、河川からの自然系のごみ(河川から流出した木屑、竹、アシ、ヨシ、葉、ワラ等)と、河川からの人工系のごみ(河川から流出した生活ごみなど、自然系以外



の全てのごみ)を合わせた「河川で発生したごみ」 は、海岸ごみ全体の68.1%を占めるということが わかります。

つまり、「海岸ごみ」といっても、その7割は川から流れてきたことが分かります。この「河川で発生したごみ」は、河川に捨てられたごみだけを指すのではなく、山や街や川原などから"河川を通じて流れ出たごみ"を指します。

沿岸域に住む人たちだけなく、すべての人たち が海のごみを発生させる可能性があることを認 識することが重要です。

(4) 海岸ごみの季節別傾向と安全・安心な海水浴場

平成15年度の海岸でみについて、可燃物、不燃物、 海藻類のそれぞれの季節別の比率を示したのが上記 の図です。3種とも、7~9月期に処理量が増加していま す。

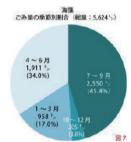
これは、この時期に海水 浴客が集中するため、可燃 ごみ・不燃ごみの処理量が 増加するためです。

海水浴客のごみの放置や 深夜の打ち上げ花火などの マナー違反に対応するため、各自治体では、海・浜の ルールブックを作ったり、海



水浴場のマナー向上に関する条例を制定し、砂浜での飲酒の禁止や音響機器の使用を禁止したりして安全・安心な海水浴場を目指しています。





(5) 海水浴場マナーアップ推進協議会

鎌倉市・逗子市・葉山町では、「海水浴場マナーアップ推進協議会」を立ち上げ、住む人・働く人・遊びに来る人、そして子どもからお年寄りまで、誰もが安心して快適に楽しめる本来の海水浴場を取り戻すため、2015年からマナーアップを訴える「SMART BEACH PROJECT」を始めました。

また、鎌倉市由比ガ浜海水浴場では、ビーチに与えられる国際的な環境認証「BLUE FLAG」をアジアで初めて取得。

いずれも、海水浴場の魅力を高め、海水浴客のマナーアップ、安全でキレイな海岸を目指していく取り組みです。



5 海岸ごみは動物たちにどんな影響があるの?

(1) 海洋ごみによる生き物被害

2019年8月5日に鎌倉市由比ガ浜海岸で生後3~6か月のシロナガスクジラの赤ちゃんの死骸が打ちあがり、その胃の中から3cmほどのプラスチックが見つかったことが話題となりました。死因とは直接関係がないとの発表でしたが、「胃からプラスチックが出てきた」という事実は衝撃を与えました。



出典 https://funasuke.com/kujira-yuigahama/

この他にも過去にインドネシアの海岸に打ち上げられたクジラのおなかの中から6キロものプラスチックが発見された事例もあります。世界ではじめて海洋ごみによる生物の被害と記録されているのが、1931年にサメが自転車用のゴムタイヤに絡まっているのを発見されたものでした。その後、問題はどんどん深刻化していき、現在では、海洋ごみの影響で魚類、鳥類、アザラシなど多くの生物が傷つけられたり、死亡するケースが増えています。



出所:ナショナルジオグラフィック誌

海洋ゴミによる生物の被害として代表的な事例で挙げられる生物が、ウミガメです。プラスチックのロープや漁具に絡まってうまく泳げず死んでしまったり、プラスチックのビニール袋をクラゲと間違えて食べて窒息死してしまうことが大きな問題となっています。他にも、現在、アホウドリの絶滅が危惧されていますが、その原因の一つがプラスチックだとも言われています。ビニールやペットボトルのキャップを間違えて食べてしまい、窒息したり、胃の中がプラスチックでいっぱいのため餌

が上手く食べられず餓死してしまうケースも出てきています。



出典:https://www.ecozzeria.jp/archive/news/2012/06/11/saezurikan_midway.html この写真は死んでしまったアホウドリの胃の中から出てきたり、アホウドリの雛が吐き出したプラスチックだそうです。

(2) 人間の体に影響を与える可能性も

海洋生物だけではなく、海洋でみは私たち人間の体 にも影響を与えている可能性があるともいわれていま す。

プラスチックごみは、海に流され、時間が経過することによって<u>劣化したプラスチックは、「マイクロプラスチック」と言われる細かい粒子に変わります</u>。それを気づかずに魚が食べ、その魚を私たち人間が口にし、人間の体にマイクロプラスチックの物質が蓄積されていくこととなります。

マイクロプラスチックに関しては、現在、どのような被害が出るのかは研究段階ですが、甚大な健康被害が出る可能性も大いに秘めています。一説によると、世界で年間800万トンの海洋ごみが発生しており、2050年には海洋のプラスチックごみが魚の数よりも多くなると言われています。(日本財団ジャーナル「2050年の海は、魚よりもごみが多くなるってホント?いま私たちにできる2つのアクション」より)。

人間も動物の一種であるという認識のもと、自分事としてこれらの問題は考えていかなくてはいけないかもしれません。



出所:英国政府とバヌアツ政府が海洋プラスチックごみ削減 のための政府間協力イニシアチブ「Commonwealth

6 海岸は誰がキレイにしてくれているの?

(1) かながわの海岸清掃事業

神奈川県では、横須賀市走水海岸から湯河原町湯河原海岸までの約150キロメートルの自然海岸の美化、海岸清掃の拠点として、神奈川県及び相模湾沿岸13市町により「公益財団法人かながわ海岸美化財団」が設立されました。県や13市町の機関と緊密な連携のうえ、横須賀市走水海岸から湯河原町湯河原海岸までの自然海岸、河川河口部、海岸砂防林の行政区域を越えた一体的・効率的な清掃を実施しています。

かながわ海岸美化財団は、神奈川県の自然海岸約150kmの一体的な清掃のほか、ごみの持ち帰り運動やビーチクリーンアップの開催等による美化啓発、海岸清掃ボランティアへの支援などを行う**日本で唯一の海岸美化を目的として設立された公益財団法人**。行政区域は違えど海は一つ。神奈川県は、県と海岸沿いの市町が行政区域を超え、広域で連携して海岸環境の美化に取り組んでいる日本の海岸環境先進都市なのです。

(2) かながわ海岸美化財団の海岸清掃事業

① ビーチクリーナー

かながわ海岸美化財団では、大量に漂着したごみや流木等の巨大なごみを迅速に効率よく処理するため、 専用の機械(ビーチクリーナー)を使用しています。

ビーチレーキ式ホイールローダー

レーキとは、熊手のこと。一般的なホイールローダーのバケット部分を改造して、熊手のように「鋤きながら集める」ほか「つかむ」「ふるう」を行えるようにした機械です。大量に漂着した木くずの集積→搬出や海藻の集積→埋却という作業を汎用機の倍以上の効率で行うことができます。

トラクタ牽引式ビーチクリーナー

利用者の多い砂浜海岸では、限られた時間で、タバコのフィルターやペットボトルのキャップのような細かいごみを採取する清掃が求められます。

特に海水浴場では、短時間で広範囲を清掃しなくてはならないため、トラクタ牽引式ビーチクリーナーを使用して迅速な清掃を実施しています。

② 海岸パトロール

かながわ海岸美化財団では、横須賀市走水海岸から湯河原町湯河原海岸までの約150kmに及ぶ自然海岸を5つのエリアに分けて、パトロールを毎日実施しています。

★エリア分け★

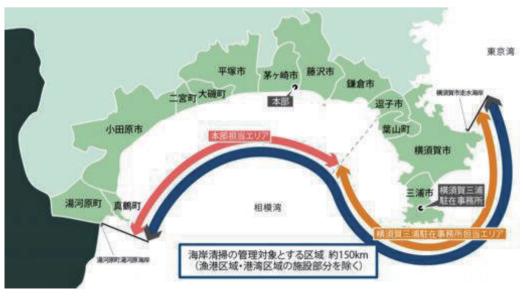
横須賀三浦駐在事務所

(ア)横須賀葉山パトロールエリア:横須賀市、葉山町 (イ)三浦パトロールエリア:三浦市

本部

- (ウ)東パトロールエリア:逗子市、鎌倉市、藤沢市 (エ)西パトロールエリア:茅ヶ崎市、平塚市、大磯町
- (エ)四ハトロールエリア・矛ケ崎市、平塚市、入磯町 (オ)西湘パトロールエリア:二宮町、小田原市、真鶴町 湯河原町

パトロール対象地域を上記 $(P) \sim (t)$ の5エリアに分け、3名のパトローラーがそれぞれ1日1エリアを確認しています。基本的に同じ海岸を1週間に2回パトロールしています。



7 海岸清掃ボランティアは何人くらいいるの?

(1) 海岸清掃のボランティア

近年では15万人を超える人が海岸清掃のボランティアに参加をしています。海岸清掃ボランティア参加者数は、平成3年度は57,228人を数え、平成4年度には66,329人に増加しましたが、翌年度から細かなアップダウンはあるものの、減少傾向で推移し、かながわ海岸美化財団設立から6年後の平成9年度は最低の46,480人にまで落ち込みました。

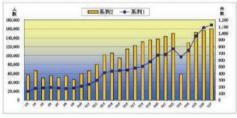
平成11年度にかながわ海岸美化財団ホームページを開設し、ボランティアの清掃情報を発信し始めたのが功を奏し、ホームページを見てメールによる参加申込が増加しました。また、平成12年度から県下一斉ビーチクリーンアップを開始し、平成13年度に10万人を超えました。

平成24年度は、公式フェイスブックページを開設し、タイムリーな海岸状況やイベント情報を発信し始めると、これまでビーチクリーンをしたことのない層の関心を集めることができ、平成25年度には、新規の参加者が大幅に増加し、ついに15万人を超え、その後も順調に増加し、平成27年度は16万人を突破しました。

参考 (http://www.bikazaidan.or.jp/b cu/bcu.html)

海岸ボランティア清掃年次比較

年度	全体		定期清掃		話時清掃	
	這个件數	延べ人数	延べ件数	庭べ人数	延べ件数	延べ人数
83	133	57,228	7	85	126	57,143
94	177	66,329	12	351	165	65,978
85	183	49,703	25	607	158	49,096
116	188	55,170	27	23,686	161	31,464
87	181	51,140	33	22,802	148	28,338
86	174	55,141	39	25,022	135	30,119
89	182	45,480	.44	15,479	138	30,001
RIG	211	59,723	50	26,580	161	33,143
811	239	66,264	53	24,105	186	42,159
812	295	80,429	49	25,004	246	55,425
813	411	101,840	57	29,184	254	72,656
814	432	105,407	68	31,231	364	74,176
815	442	94,687	67	32.276	375	62,411
816	453	115,003	60	35,209	373	79,794
817	477	122,460	84	36,693	393	85,767
818	505	131,067	85	36,699	420	94,368
819	575	135,062	88	37,197	487	97,865
820	674	136,991	92	39,117	582	97,874
R21	683	142,782	103	44,817	580	97,965
H22	769	149,681	331	47,098	658	102,583
R23	646	58,675	114	16	532	58,659
824	745	128,354	117	48,135	628	80,219
H25	961	152,110	120	48,545	841	103,565
H26	1,083	156,576	123	49,357	960	107,219
827	1,123	160,056	126	49,526	997	110,530











8 ビーチクリーンはどうやってやるの?

誰でもカンタン! ビーチクリーンをやってみよう

ビーチクリーンを行うには、二つの方法があります。

- (1) 自分でビーチクリーンを行う
- (2) ビーチクリーンを行う団体の活動に参加する それぞれの参加方法について、詳しくご紹介していきます。

(1) 自分でビーチクリーンを行う

自宅近くのビーチや、よく遊びに行くビーチで、思い立ったらすぐに実行できる気軽さが、自分でビーチクリーンを行うことの利点です。

自分でビーチクリーンをやりたいという方は、かながわ海岸美化財団の「ごみ袋の提供」「ごみの回収」「清掃用具の貸出」の無償サポートを活用するのもオススメです。日時はいつでもOK。神奈川県の自然海岸(横須賀市走水海岸〜湯河原町吉浜の間)であればどこでもサポートが受けられます。また、ビーチクリーンをしたいけれど、どこの海岸がベストなのか分からない!という場合も、かながわ海岸美化財団で相談に乗ってくれます。

ビーチクリーンサポートの申し込み

財団ホームページの「海岸清掃申込フォーム」または、財団の E-MAIL (info@bikazaidan.or.jp)、電話 (0467-87-5379) まで。

(2) ビーチクリーンを行う団体の活動に参加する

「ビーチクリーンをしたいが、一人では心細い」「やり方がわからない」という場合は、ビーチクリーン活動をしている団体に参加してみましょう。かながわ海岸美化財団では、神奈川県内の自然海岸でビーチクリーンを行う団体のプラットフォームとして「ボランティアカレンダー」や「定期清掃ボランティア団体一覧」をまとめていますので、様々な海岸でビーチクリーンをしている様々な団体を紹介してもらえます。

参考:「公益財団法人かながわ海岸美化財団」 http://www.bikazaidan.or.jp/bcu/bcu.html

(3) ビーチクリーンだけじゃもの足りない方へ!

湘南でビーチクリーンを実施している団体の中には、ビーチクリーンと合わせて様々なイベントを開催したり、海の環境教育を実施している団体があります。県外など遠方から来られた方は、「せっかくだからビーチクリーンだけではなく他にもいろいろ体験して帰りたい」と思われるかもしれません。

NPO法人湘南ビジョン研究所では、「湘南VISION大学」の授業として、ビーチクリーンと合わせた多くのイベントを行っています。

①未来に残したい海岸を歩く・湘南浜歩き

波打ち際、砂浜、海岸林の生き物観察をしながら、海岸の「魅力と役割」を再発見し私たちが「未来に残したい湘南海岸」を考える湘南VISION大学の授業です。ビーチクリーンをしながら講師の解説付きで自然観察をし、茅ヶ崎から平塚までの海岸を歩きます。



②江の島海底清掃プロジェクト

全国で海底清掃を行っているスペシャリスト集団「海をつくる会」のダイバー約20人が海に潜り、普段は見えない海底のゴミを引き揚げます。参加者は、岸壁の上からゴミを引き揚げる作業をお手伝いします。海底清掃後は、その場で、海底ゴミについての勉強会。「どうすれば海底ゴミをなくすことができるのか?」をみんなで一緒に考えます。



③ビーチコーミングでタイムトリップ!

美しいサクラガイやタカラガイをはじめ、800年前の陶磁器や牛馬の歯など歴史あるお宝が見つかる日本唯一の海岸である鎌倉の海岸で、歴史を学びながら大人も子供も楽しくビーチコーミングをします。終了後にはゲットしたお宝をみんなで見せ合いながら、先生から解説をしてもらいます。



9 ブルーフラッグって何?

(1) ブルーフラッグとは?

「ブルーフラッグ」とは、デンマークに本部がある 国際NGO FEE (Foundation for Environmental Education: 国際環境教育基金) による認証制度で す。①水質、②環境教育と情報、③環境マネジメント、④安全性・サービスの4分野、33項目の認証基 準があり、毎年審査を受けて更新する必要がありま す。基準を満たしたビーチ・マリーナ・観光船舶事 業者はフラッグを掲げることができます。

ブルーフラッグは1998年にフランスで誕生し、現在世界45ヶ国、4,560ヶ所が取得しています。特にヨーロッパでの認知度は高く、ブルーフラッグを取得したビーチは「きれいで安全で誰もが楽しめる優しいビーチ」として、多くの人々がバカンスに訪れます。



出典 FEEJapanHP

(2) なぜブルーフラッグ取得を目指すのか?

湘南地域の海岸では、神奈川県と相模湾沿い13市町が出資して運営するかながわ海岸美化財団が海岸清掃を実施しています。また、年間延べ約15万人のボランティアによる自主的なビーチクリーンも行われています。

しかし、海水浴客や観光客によるBBQや地引網後のごみ放置、花火大会後のごみ問題は特に深刻で、この数十年間、海岸ごみの総量は減っていないのが現状です。

では、どうすれば海岸ゴミはなくすことができるのでしょうか。もちろん原因は複雑で、解決策は一つではありませんが、当研究所では一つの答えにたどり着きました。それは「海岸ごみは、ビーチだけでなく発生源の河川や街を含めた地域全体で、自治体・企業・市民が連携して取り組まない限り解決できない」ということでした。

この問題意識を持つようになった2011年、ブルーフラッグ制度が日本にもあることを初めて知り、FEEの日本支部であるFEE Japanを訪問しました。その結果、ブルーフラッグの認証を受けるには、水質

調査をはじめ、ごみの分別、生態系の保護、環境教育、バリアフリーの整備、環境マネジメント計画の策定などが必要であることが分かり、これは、まさに当研究所が目指していた地域全体で取り組むべき海の環境活動そのものでした。ブルーフラッグを目指すことによって、各種関係者が協力する体制が生まれ、ビーチの持続可能な発展が期待されると考えました。

(3) アジア初のブルーフラッグ認証取得

そこで、当研究所は、「湘南海岸からアジア初のブルーフラッグ取得をめざす」とNPOでは全国で初めて宣言し、湘南地域の9市町の首長にブルーフラッグ取得推進を提言。最終的には鎌倉市長がBFの趣旨に賛同し、「由比ガ浜海水浴場」でブルーフラッグ取得を目指すことを記者会見で公表しました。

その後、由比ガ浜茶亭組合長をはじめ様々な関係者のご尽力により、ブルーフラッグ取得に向けた活動を進めていきました。

2016年4月、コペンハーゲンで開かれたFEEの国際審査委員会において、神奈川県鎌倉市「由比ガ浜海水浴場」と福井県高浜町「若狭和田海水浴場」がアジア初のブルーフラッグに認証されました。

さらに、2019年4月、千葉県山武市「本須賀海水浴場」と兵庫県神戸市「須磨海水浴場」が認証され、国内において4ヶ所のブルーフラッグビーチが誕生。日本でもブルーフラッグの認知度が向上し注目され始めました。



10 日本のブルーフラッグ認証ビーチはどこ?

(1) 日本のブルーフラッグ認証ビーチ

現時点、日本でブルーフラッグ認証を受けたビーチは4か所。

- ・神奈川県鎌倉市「由比ガ浜海水浴場」(2016年4月認証)
- ·福井県高浜町「若狭和田海水浴場」(2016年4月認証)
- ·兵庫県神戸市「須磨海水浴場」 (2019年4月認証)
- ·千葉県山武市「本須賀海水浴場」(2019年4月認証)



(2) 神奈川県鎌倉市「由比ヶ浜海水浴場」

毎年多くの海水浴客が訪れる鎌倉市由比ガ浜海水浴場は、2016年にアジア初となるブルーフラッグ認証を取得しました。2019年には「バリアフリービーチ」の取り組みとして、海の家同士を繋ぐ800mものボードウォークを設置し、より多くの人々にビーチを楽しんでもらう試みを実施しました。今後もバリアフリービーチとしての取り組みを続け、アジア発のブルーフラッグ認証ビーチとして、ブルーフラッグの内容やその意義について、どのように伝えれば多くの人に理解してもらえるのかを研究し、日本のビーチ最先端を目指していきます。(鎌倉市)

(3) 福井県高浜町「若狭和田海水浴場」

若狭和田海水浴場も由比ガ浜海水浴場と同様、2016年にアジア初のブルーフラッグ認証取得ビーチとなりました。若狭和田海水浴場がブルーフラッグ認証取得に取り組んだきっかけは「美しいビーチにお客様を取り戻したい」という想いがあったからでした。

1980年代には120万人もいた海水浴客は、少子高齢化や日帰り客の増加により、現在20万人にまで減少しましたが、ブルーフラッグを取得したことで外国人観光客が増加し、2019年には2,250人もの外国人観光客が高浜町を訪れるようになりました。(高浜町)

(4) 兵庫県神戸市「須磨海水浴場」

須磨海水浴場がブルーフラッグ認証取得に取り組んだきっかけは「海水浴場の健全化」「海岸の環境保全や安全性の向上」「観光客数の増加」を目指したからでした。ブルーフラッグ認証取得までの取り組みとして、バリアフリー・ユニバーサルデザイン(スロープやバリアフリーのトイレや更衣室の設置)や、海の家

の営業の健全化を実施し、2019年にブルーフラッグ 認証を取得しました。美しい須磨海岸を今後も守っていくため、地元の市民、漁業者、事業者の皆さんと協力し「須磨海岸を守り育てる」取り組みを継続していきます。(神戸市)

(5) 千葉県山武市「本須賀海水浴場」

本須賀海水浴場がブルーフラッグ認証取得に取り組んだきっかけは、松下山武市長の「美しい九十九里浜を次の世代へ引き継ぎたい」という強い想いがあったからでした。ブルーフラッグ取得のため、2018年4月から約1年間、水質調査の実施、海に関わる市街関係者への説明、日本ライフセービング協会による海水浴場安全調査を実施し、2019年にブルーフラッグ認証取得を実現しました。「環境教育」「防災」「観光」の面でブルーフラッグ周知に向けた取り組みをこれからも継続し、美しい九十九里浜を次世代へ引き続げるよう活動していきます。(山武市)



11 海の環境教育って何で必要なの?

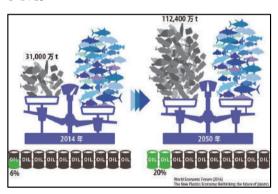
(1) いま、海に起こっていること

海。

地球の中で約70%を占めている海は、地球の循環システムを支え、命が育まれる場所であり、その恩恵を受けて我々は生きています。現在、そんな海には既に1億5,000万トンものプラスチックごみが漂っており、毎年800万トンものプラスチックごみが捨てられています。

2016年のダボス会議では、2050年までに魚の量を超える(重量ベース)との試算が示されました。大量のプラスチックごみは、既に海の生態系に甚大な影響を与えており、魚類、海鳥、アザラシなどの海洋哺乳動物、ウミガメを含む少なくとも約700種もの生物が傷つけられたり死んだりしています。

世界的にも問題となり、2019年6月のG20サミットで、日本がリーダーシップを取り、2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減することを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を、共通の世界のビジョンとして、各国で共有しました。



(2) 日本で起きている若者の「海離れ」

そんな海に対して興味がない人が増えています。 海岸ごみの7割は街から川を経由して流れてきます。 海岸をキレイにするには川をキレイにしなければなりません。川をキレイにするためには街をキレイに。 街をキレイにするためには、海の環境を守ろうという 人を増やさなければなりません。

公益財団法人日本生産性本部『レジャー白書2017』によると、2016年の海水浴の参加人口は前年比3.9%減少の730万人となっています。11年以降は1,000万人を下回るなど減少傾向にあり、海水浴を楽しむ人が少なくなっている状況です。

また、若年層の"海離れ"も深刻です。日本財団が実施した「海と日本に関する意識調査2017」によると、10代の42%、20代の36%が「海に親しみを感じない」



と回答。背景には、子どもの頃の海との思い出の少なさがあります。行きたくない理由として、「日焼けが嫌だ」(43%)、「海水や海風で身体がベタベタするのが嫌だ」(34%)・10代では「海でしたいことはない」(31%)「慣れていない」(30%)となっています。

(3) 海を愛することが未来を守ることにつながる

では、どうすれば海岸でみをなくすことができるのでしょうか?ビーチクリーンに参加するボランティアの皆さん、海岸でみを定期回収する海岸美化財団の職員、海岸環境を守るルールづくりやマナー啓発活動に取り組んでいる行政職員、それぞれが頑張っています。

これから必要なのは、むしろ海に関心のなかった人たちに、海を好きになってもらい、海を守る活動に協力してもらうことではないでしょうか。海の楽しさ、素晴らしさ、大切さを理解し、我々一人ひとりが、海を愛していくことが、海を、生き物を、地球を、そして未来を守ることにつながると思うのです。だから、「海の環境教育」が必要なのです。



《参考》公益財団法人日本生産性本部『レジャー白書2017』 日本財団 「海と日本人」に関する意識調査 外務省 「地球環境」> 海洋プラスチックごみ

12 湘南 VISION 大学ってどんな学校?

(1) 「湘南 VISION大学」とは

「湘南VISION大学」とは、当研究所が主催する「海」 の環境教育に特化した市民大学です。「海をもっと楽 しもう!」をテーマに、海を体感するアクティビティや ワークショップを通して、海の生き物や環境、歴史、海 の楽しみ方を学びます。学校教育法が定める国立や 私立大学ではなく、子どもからシニアまで、誰もが入 学できる「海の学び場」です。

湘南VISION大学

海をもっと楽しもう!

6я9ыс

(2) 「湘南都市構想 2022」提言がスタート

実は「湘南VISION大学」の設立構想は、2013年に 提言した「湘南都市構想2022」の中のプロジェクトの 一つに入っていました。2013年から構想実現に向け て検討を始め、プレ講座の開催など様々な形でニー ズを模索しましたが、なかなか形にならず、NPOにあ りがちな経済的な課題もあり、途中でプロジェクトは 中止になってしまいました。

しかし、2016年度から再開。「湘南ソーシャル系大 学設立プロジェクト」を立ち上げ、開校に向けて本格 的な準備を開始しました。自治体をはじめ、多くの企 業や団体、友人にご協力いただき、2018年5月5日に 記念すべき開校式を、2020年東京オリンピック・セー リング競技が開催される江の島「ヨットハウス」で開 催しました。

ミッション

「湘南の海を守り、未来をつくる人」をつくる















特徵



(3) ミッション

本大学のミッションは、「海を守り、未来をつくる人 をつくる」です。私たちは、誰もが参加できる"海の学 び場"を提供し、海・まち・ひとをつなげ、それまで海 に関心の無かった人も含め、授業に参加したみんな に海を好きになってもらい、海を守りたいと思っても らえるような市民大学にしたいと考えました。

(4) 3つの特徴

本大学の特徴は、次の3点です。①キャンパスは、 湘南の海。②講師陣は、湘南で活躍するプロセーラ ー、プロサーファー、ダイバー、研究者、ヨガ講師、ビ ーチコーマー、お笑い芸人、料理人など、海を**専門と** する多彩なプロフェッショナルな方々。③海を楽しむ 仲間が集う学びのコミュニティがあります。





13 湘南 VISION 大学はどんな授業があるの?

(1) 「湘南 VISION大学」の授業

「湘南VISION大学」では、誰でも気軽に海を楽しんでもらえるようなユニークな講座を多数用意しています。

例えば、プロセーラーと共に海上を周遊する「クルージング体験」、新しい海の楽しみ方を体感する「ビーチナイトピクニック」、元プロ野球選手による「ビーチでチャッチボール」、環境と健康をテーマにした「サンセットビーチョガ」、真夏の夜の海でLEDライトを使う新感覚「ビーチナイトゴルフ」、専門ダイバー20人が海に潜る「江の島海底清掃」、湘南の食材を使った「シーフード料理教室」、東京オリンピック会場を帆船で回る「やまゆり乗船体験」、海岸を散策して漂着物を観察する「ビーチコーミング」などです。

2018年5月5日に設立・開校し、<u>2年間で51講座開</u> 催、合計2,251人の生徒に受講いただきました。

受講生を1万人輩出することが私たちの目標です。受講生が海の環境に少しでも関心を持つようになって、「海を守る」活動をみんなで進めていけば、湘南はもっともっといいまちになると思っています。 各授業では、神奈川県、藤沢市、鎌倉市や地元メディア等から後援をいただいています。



本研究所はNPOのため、湘南VISION大学も会員スタッフによる自主運営が基本です。学長は理事長が兼ねており、3人の事務局は会計や組織マネジメントなどを担当。各授業には「授業担当者」が割り振られ、企画から準備、当日の運営まで行います。

各授業の参加費は一人500円?3000円程度で、寄付や助成金を活かしながら持続可能な形で事業化しています。また、企業から依頼を受けて環境教育を委託事業として実施する授業や、自治体や大学、企業、市民団体から講演依頼を受けて学長が講義を行う場合もあります。

2019年度は高校生1人と大学生3人が本大学にインターン生として加入し、組織の機動力が強化されました。高校生からシニアまで多彩なスタッフが揃っているのも本大学の魅力の一つです。





Work」、AN ECCY CAPE、1899EEEA. FR 2018 E. TOWN CLASS VISION NO TOWN 1997 E. TOWN 19

14 SDGsとは?

(1) SDGsとは?

先進国を中心とした一部の人が豊かな生活を享受 する一方、多くの人の生活や環境には多大な負荷がか かっています。この負荷はあまりにも大きすぎ、この状 況を持続することは不可能です。2015年9月。国連サミ ットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採 択されました。ここに記載された国際目標が「持続可能 な開発目標(SDGs) です。SDGsは、地球上の「誰一人 取り残さない」ことを誓い、2030年までに持続可能でよ りよい世界を目指す、としています。

SUSTAINABLE GOALS



地域や性別にかかわらず、貧困、飢餓、教育、衛生、労 働、などの不平等をなくすこと。環境に対する負荷を軽 減すること。そのために必要な社会の仕組みづくりも 含め、我々がジブンゴトとして取り組むべき課題が17の ゴールと169のターゲットとしてSDGsに記されていま す。

湘南ビジョン研究所では、ブルーフラッグ認証の推 進など「14.海の豊かさを守る」の実現に向けての活動 が多いですが、SDGsについての理解を深めるSDGs力 ードゲームなどの講座も実施しています。

(2) 神奈川県のSDGs

神奈川県は、国の「SDGs未来都市」及び「自治体 SDGsモデル事業」に選定されています。

2018年夏、鎌倉市由比ガ浜でシロナガスクジラの赤 ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが 発見されたことを受け、神奈川県は、これを「クジラから のメッセージ」として受け止め、持続可能な社会を目指 すSDGsの具体的な取組として、深刻化する海洋汚染、 特にマイクロプラスチック問題に取り組むとする「かな がわプラごみゼロ宣言」を発しました。

「かながわプラごみゼロ宣言」は、プラスチック製スト ローやレジ袋の利用廃止・回収などの取組を、市町村 や企業、県民とともに広げていくことで、2030年までの できるだけ早期にリサイクルされない、廃棄されるプラ ごみゼロを目指すものです。

参考:持続可能な開発のための2030アジェンダ(仮訳) https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/000101402.pdf

中学生向け教材『私たちがつくる持続可能な世界~SDGsをナビにして~』 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_navi.pdf

(3) 湘南ビジョン研究所とSDGs

湘南ビジョン研究所は、国連サミットで採択された SDGs(持続可能な開発目標)の理念に共感し「14.海の 豊かさを守ろう」の達成に貢献することをめざし、事業 を実施していくことを新たにミッションとして掲げまし to

KANAGAWA SDGs PARTNER

2019年度には、県と連携してSDGsの普及促進活動 に取り組む団体として「かながわSDGsパートナー」に登 録されました。これに伴い、地域でのSDGsの取組みを 後押しする新たなツール「SDGsつながりポイント」の実 証実験の一環として、2019年12月8日(日)鎌倉市の由比 ガ浜海岸でビーチクリーン活動&芋煮会を県と共催で 開催しました。

今後、このようなセミナー等様々な機会や媒体を通 じて県と連携してSDGsの推進をPRしていきます。







▲ セブン・イレブン記念財団 この活動は一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けています。



PUBLISHER: 片山清宏 EDITOR IN CHIEF: 片山清宏 ART DIRECTOR: 大戸千尋

EDITORIAL STAFF: 白取朋恵、松本彩、AYANO NAKAGAWA

中許竜宏、大塚靖雄、片山久美

COVER PHOTO: AYANO NAKAGAWA

web http://shonan-vision.org/

@shonanvision

info@shonan-vision.org